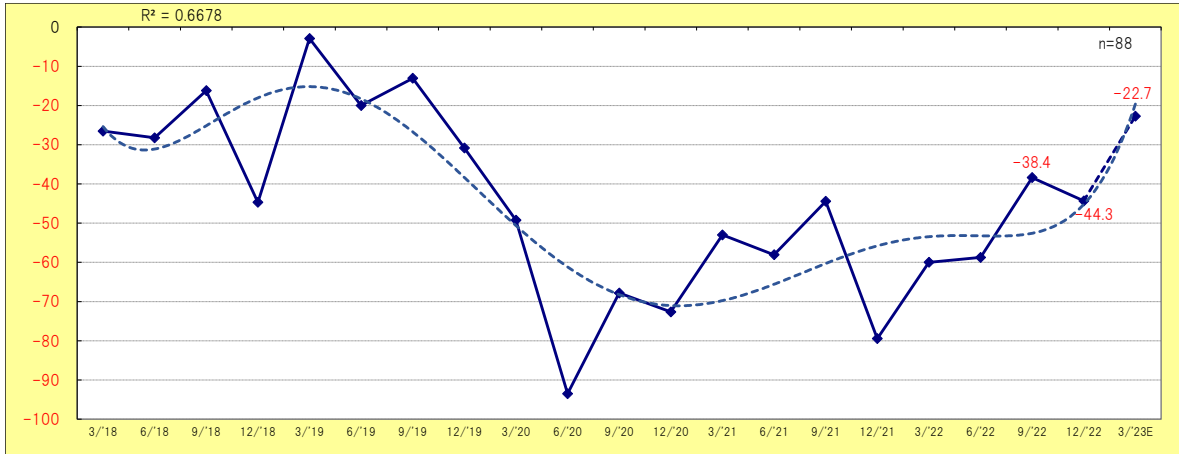


第91回 パチンコ景気動向指数(DI)調査報告書

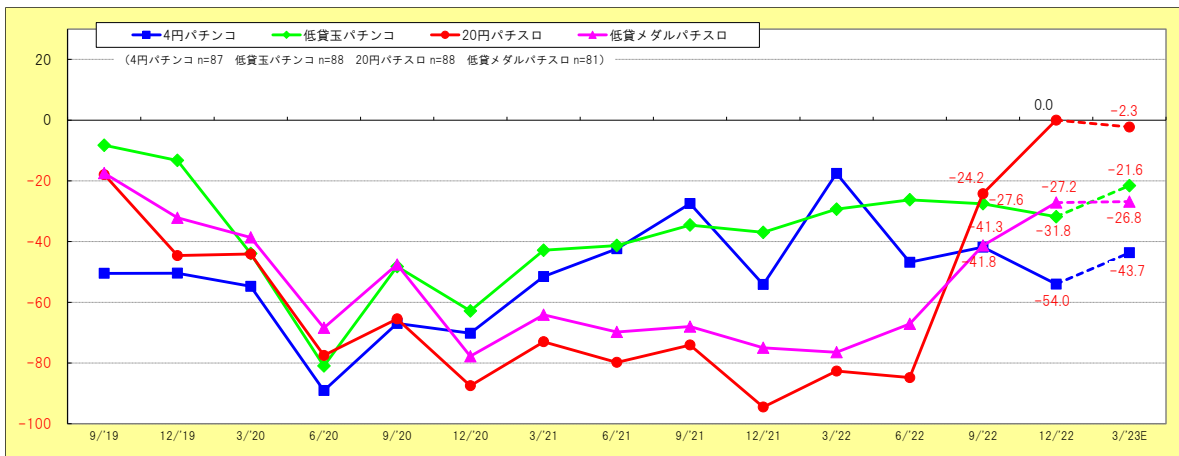
2023年1月

要点

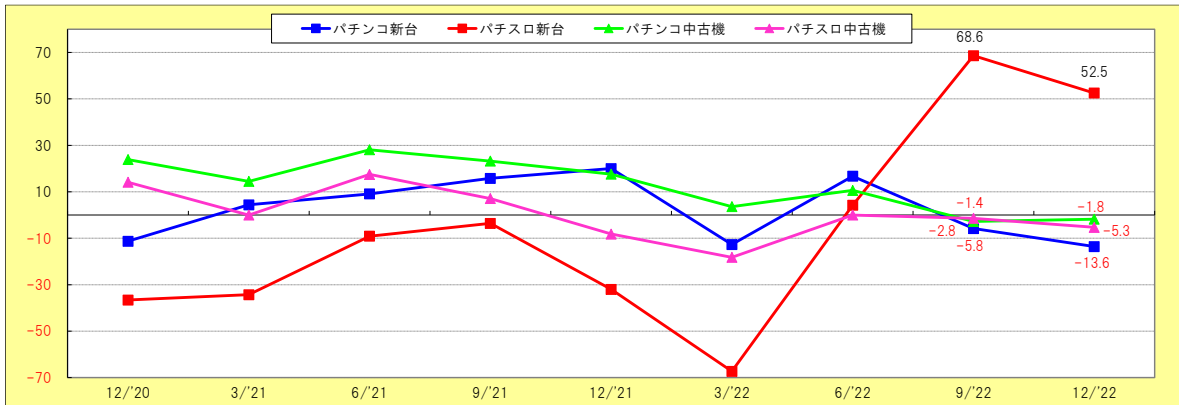
■全般的業況の推移: 悪化が見られるも、3カ月後は回復する見通し



■稼動状況(遊技料金別): 20円パチスロは大幅に回復



■遊技機購入費: パチスロ新台は落ち込むも、プラス圏を大幅に上回る



◇回答状況

61 企業、88 地域(複数の地域にまたがり事業展開する企業があるため、地域数は重複あり)

主要指標数値(DI値)結果

■全般的業況は悪化、パチスロは大幅に回復するもパチンコは大幅に悪化






















「全般的業況」は▲44.3ポイント(前回比 5.9悪化)まで低下した。3カ月後は▲22.7ポイントまで回復する見通しである。

「稼動状況」はパチンコが▲58.1ポイント(前回比 26.8悪化)まで大幅に低下、パチスロが 2.3ポイント(前回比 32.6良化)まで回復した。3カ月後はパチンコ▲45.5ポイント、パチスロ 4.5ポイントとなり、パチスロはプラス圏を維持する見通しである。






「資本投資気運(遊技機)」は 45.9ポイント(前回比 36.2良化)まで大幅に回復、3カ月後は 32.8ポイントまで落ち込むが、見通しは明るい。「資本投資気運(その他設備)」も 41.0ポイント(前回比 38.2良化)まで大幅に回復、3カ月後は 44.3ポイントまで回復する見通しである。

「不足感(雇用人員)」は▲45.5ポイント(前回比 13.2悪化)、3カ月後は▲43.2ポイントと概ね現状維持の見通しである。

【主要指標数値(全体)と業界天気】

項目	業界天気 (下段: DI値)			コメント
	前回	今回	見通し	
1. 全般的業況				現状は引き続き雷雨 見通しは雨に良化
	-38.4	-44.3	-22.7	
2. 稼動状況 (パチンコ)				現状は引き続き雷雨 見通しも引き続き雷雨
	-31.3	-58.1	-45.5	
3. 稼動状況 (パチスロ)				現状は曇りに良化 見通しも引き続き曇り
	-30.3	2.3	4.5	
4. 資本投資気運 (遊技機)				現状は晴れに良化 見通しも引き続き晴れ
	9.7	45.9	32.8	
5. 資本投資気運 (その他設備)				現状は晴れに良化 見通しも引き続き晴れ
	2.8	41.0	44.3	
6. 不足感 (営業用設備)				現状は雷雨に悪化 見通しも引き続き雷雨
	-26.3	-31.8	-39.8	
7. 不足感 (雇用人員)				現状も引き続き雷雨 見通しも引き続き雷雨
	-32.3	-45.5	-43.2	

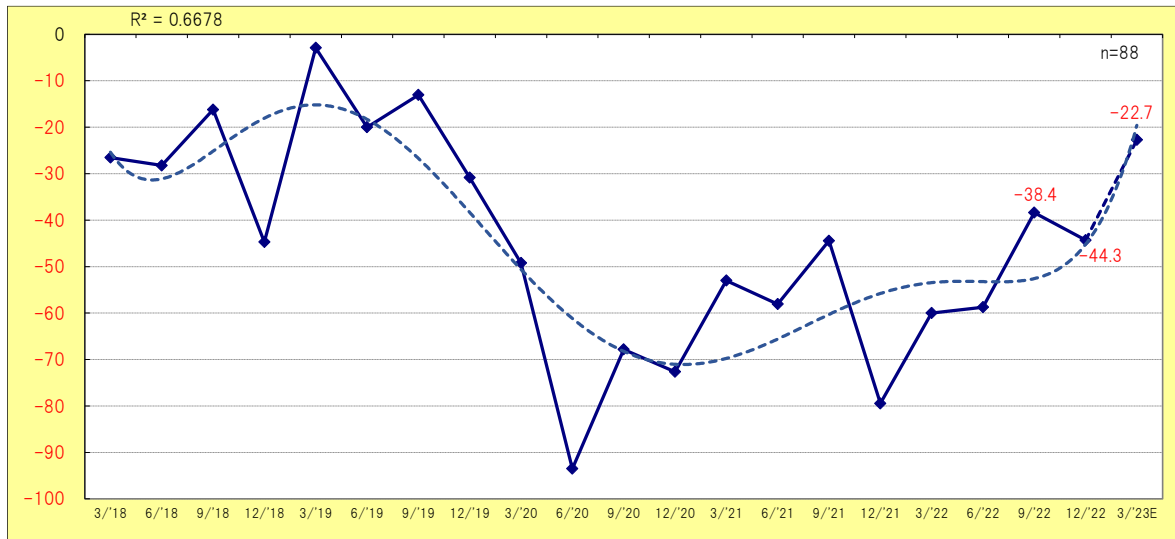
凡例: 天気記号の基準 DI 値

記号					
DI 値	100.0 ~ 30.0	29.9 ~ 10.0	9.9 ~ -9.9	-10.0 ~ -29.9	-30.0 ~ -100.0

全般的業況(事業者全体)

注:2023年3月期(3/'23E)の数値は見通し

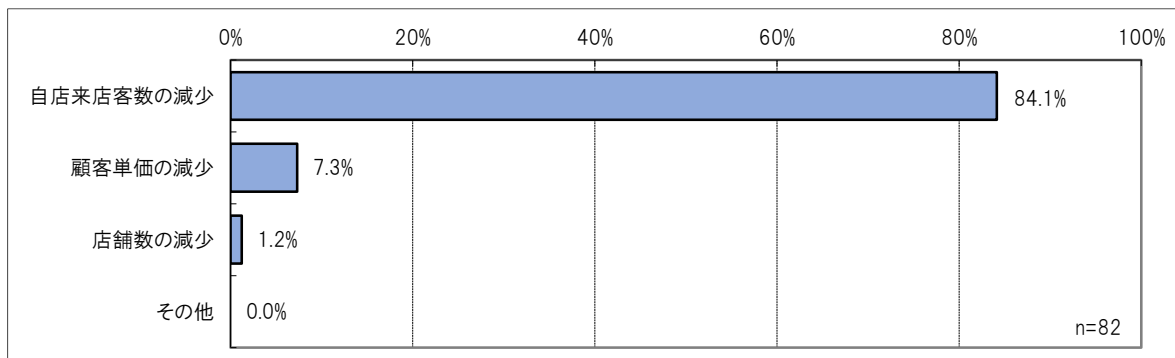
■全般的業況:悪化が見られるも、3カ月後は回復する見通し



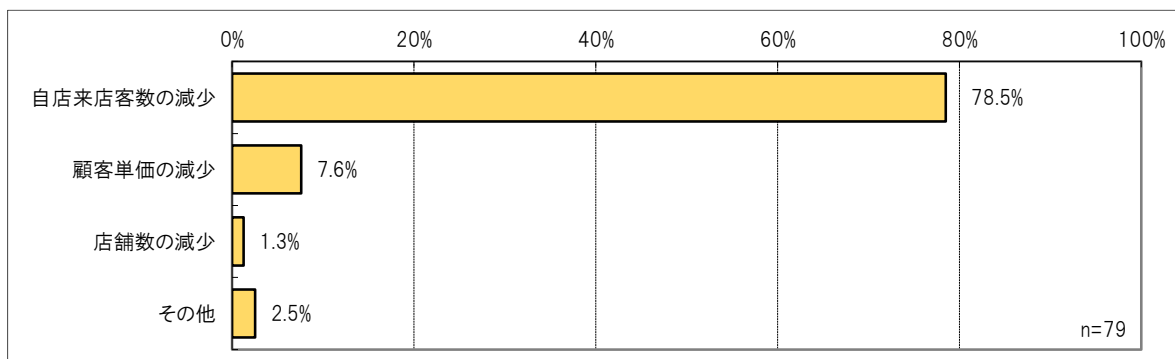
過去1カ月の収益や売上、粗利などから判断される「全般的業況」は▲44.3ポイント(前回比5.9悪化)まで低下した。ただし、3カ月後は▲22.7ポイントまで回復する見通しとなっており、業況に回復の基調が見られる。

■全般的業況の悪化理由:客数の減少は現況・先行きともに8割程度

【現況(現在を含めたここ1カ月)の判断理由】(「さほど良くない」「悪い」と回答した理由)



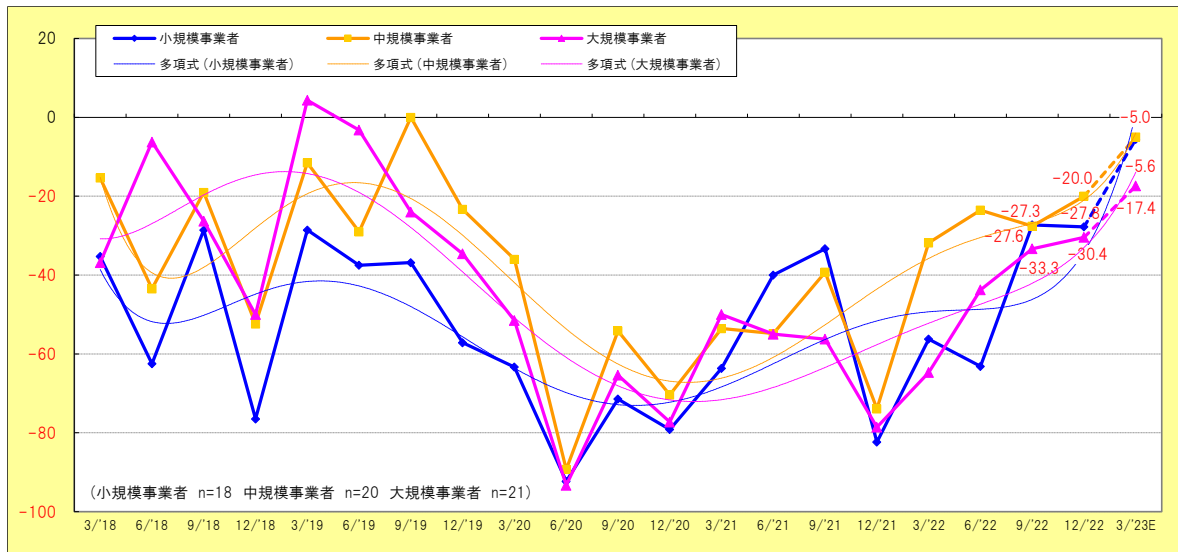
【先行き(3カ月後まで)の判断理由】(「さほど良くない」「悪い」と回答した理由)



全般的業況(規模別・地域別)

注:2023年3月期(3/'23E)の数値は見通し

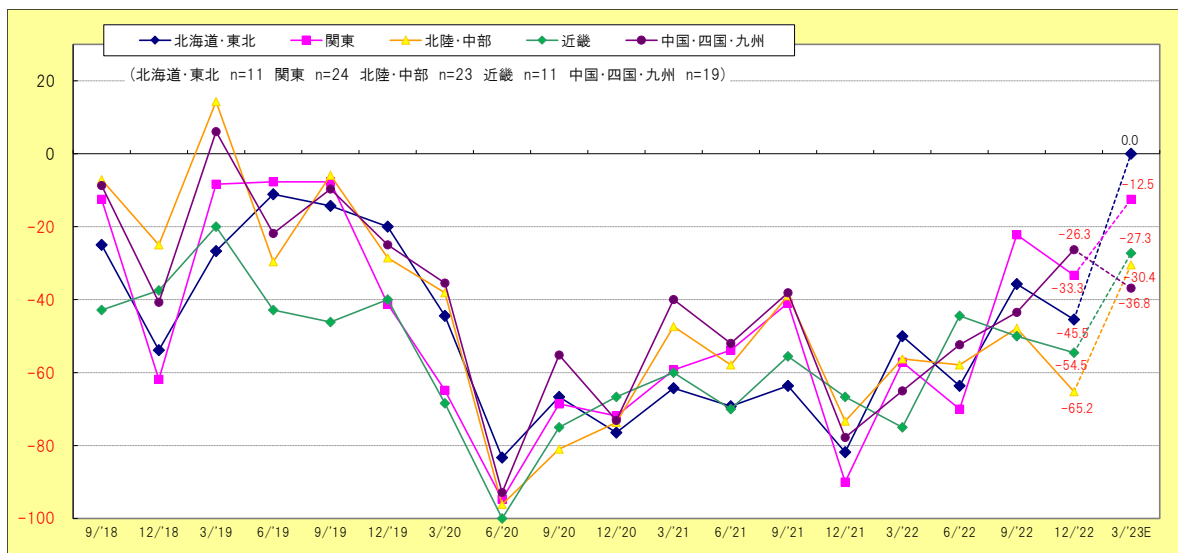
■全般的業況(規模別):中・大規模で回復、3カ月後は全事業者で回復の見通し



事業規模別の「全般的業況」では、小規模事業者(1~3店舗)が▲27.8ポイント(前回比0.5悪化)、中規模事業者(4~10店舗)が▲20.0ポイント(前回比7.6良化)、大規模事業者(11店舗以上)が▲30.4ポイント(前回比2.9良化)となった。

3カ月後はすべての事業者で回復する見通しである。

■全般的業況(地域別):中国・四国・九州は回復するも、3カ月後は悪化の見通し



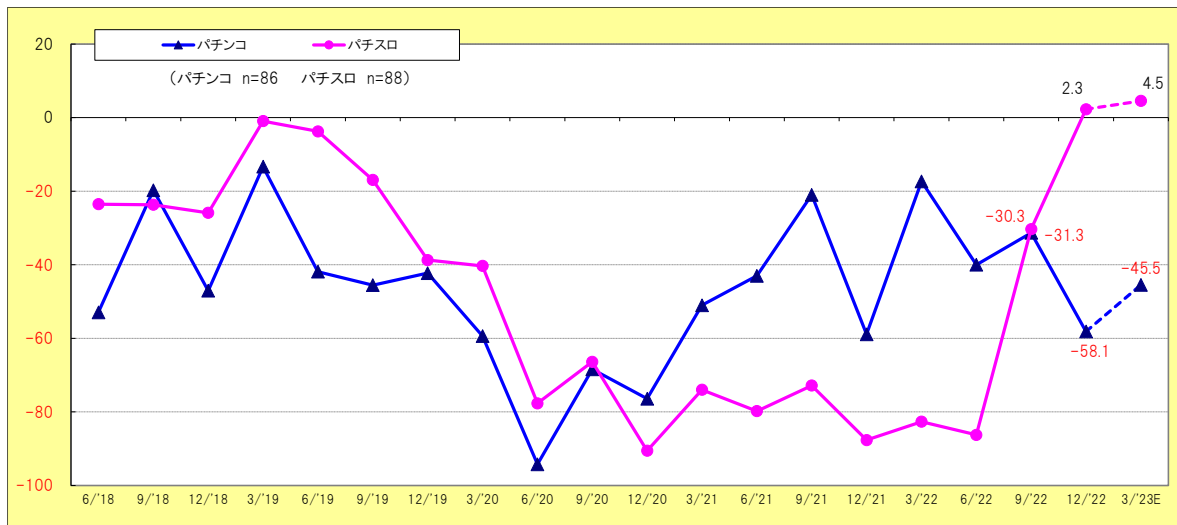
地域別での業況はバラつきが見られた。地域順では、中国・四国・九州で▲26.3ポイント(前回比17.2良化)、関東で▲33.3ポイント(前回比11.1悪化)、北海道・東北で▲45.5ポイント(前回比9.8悪化)、近畿で▲54.5ポイント(前回比4.5悪化)、北陸・中部で▲65.2ポイント(前回比17.4悪化)となった。

3カ月後の業況は、中国・四国・九州以外の地域で大幅に回復する見通しである。

稼動状況(事業者全体)

注: 2023年3月期(3/'23E)の数値は見通し

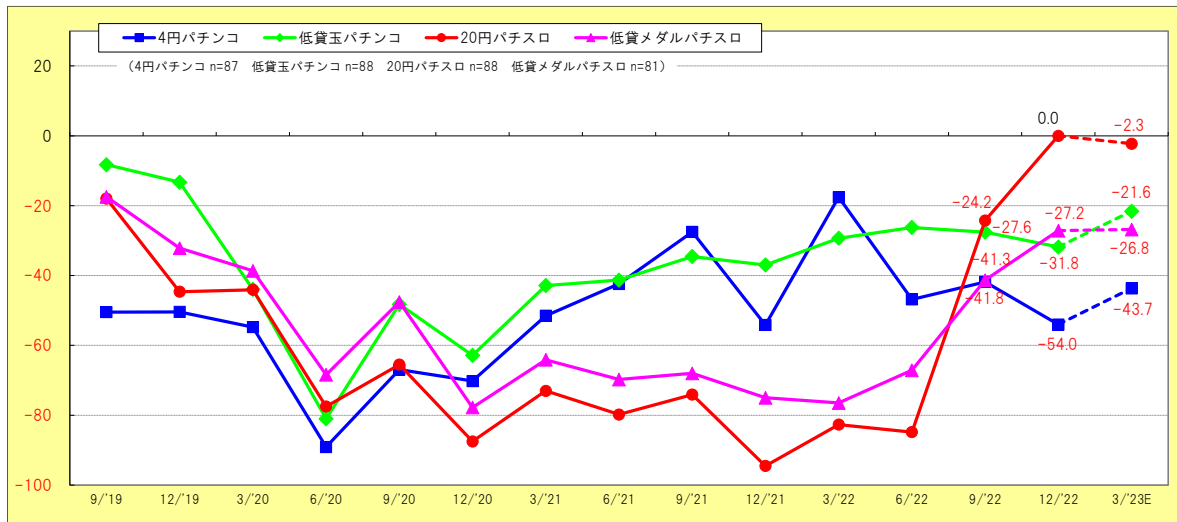
■稼動状況(パチンコ・パチスロ別):パチスロは大幅回復、3カ月後も維持の見通し



稼動状況について、パチンコは▲58.1ポイント(前回比26.8悪化)まで落ち込んだ。パチスロは2.3ポイント(前回比32.6良化)となり、2019年3月以来15期ぶりにプラス圏まで回復した。3カ月後はパチンコ▲45.5ポイント、パチスロ4.5ポイントとなり、パチスロはプラス圏を維持する見通しである。

パチスロが大幅に回復した背景には、スマスロの中で稼働が好調だった機種があったことも要因として考えられる。

■稼動状況(遊技料金別):20円パチスロは大幅に回復



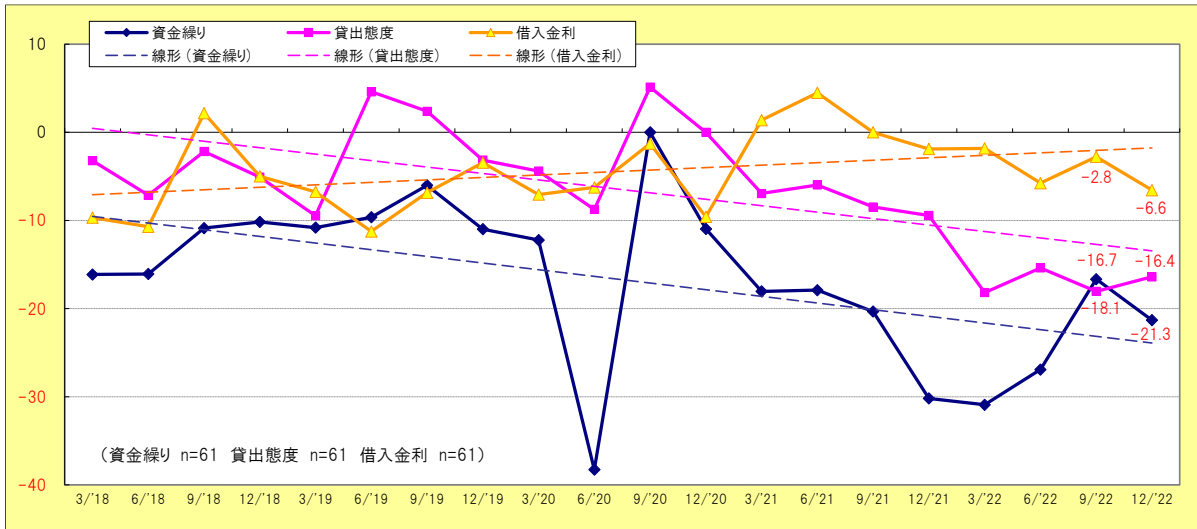
通常貸し遊技料金において、4円パチンコは▲54.0ポイント(前回比12.2悪化)まで低下した。3カ月後は▲43.7ポイントまで回復する見通しである。20円パチスロは±0ポイント(前回比24.2良化)まで大幅に回復した。3カ月後は▲2.3ポイントとマイナス圏に落ち込むも、概ね現状維持の見通しである。

低貸し遊技料金において、低貸玉パチンコは▲31.8ポイント(前回比4.2悪化)、3カ月後は▲21.6ポイントまで回復する見通しである。低貸メダルパチスロは▲27.2ポイント(前回比14.1良化)、3カ月後は▲26.8ポイントと概ね現状維持の見通しである。

経営の現状(事業者全体)

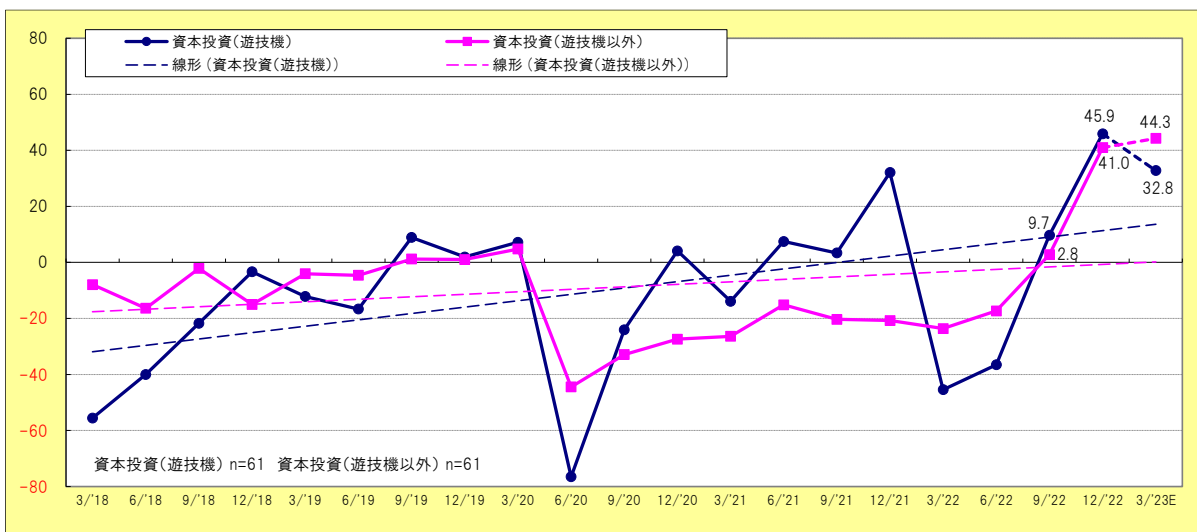
注:2023年3月期(3/'23E)の数値は見通し

■企業金融:資金繰り・借入金利がやや悪化



企業金融(資金繰り、貸出態度、借入金利)は、「資金繰り」▲21.3ポイント(前回比4.6悪化)、「貸出態度」▲16.4ポイント(前回比1.7悪化)、「借入金利」▲6.6ポイント(前回比3.8悪化)となった。

■資本投資気運:遊技機・遊技機以外のどちらも大幅に回復



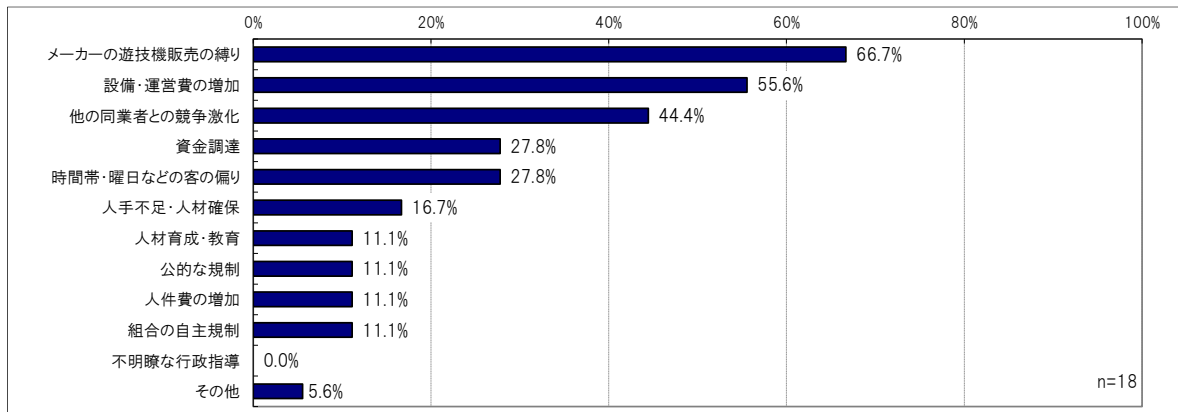
今回の「資本投資気運(遊技機)」は 45.9ポイント(前回比36.2良化)まで大幅に回復した。3カ月後は32.8ポイントまで悪化するが、見通しは明るい。

一方、「資本投資気運(その他設備)」も41.0ポイント(前回比38.2良化)まで大幅に回復した。3カ月後は44.3ポイントまで回復する見通しである。

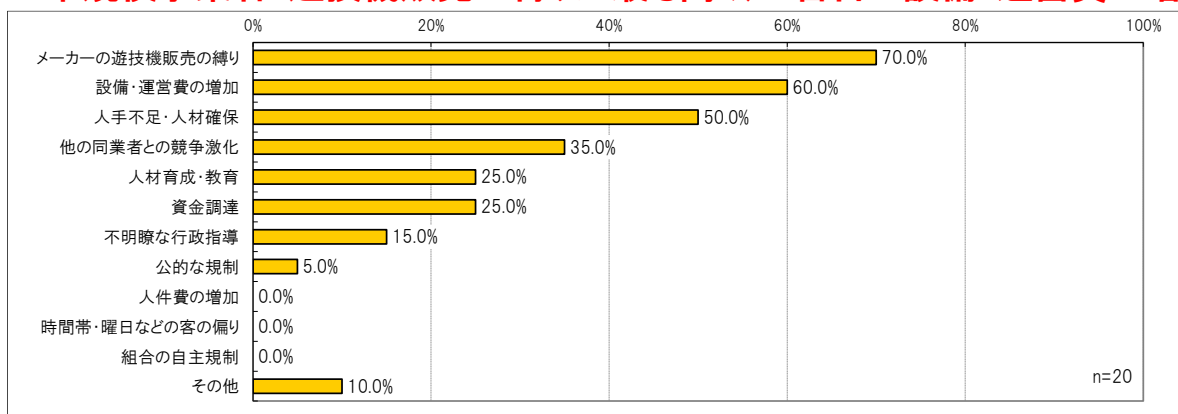
経営上の課題(事業者規模別)

注:複数回答

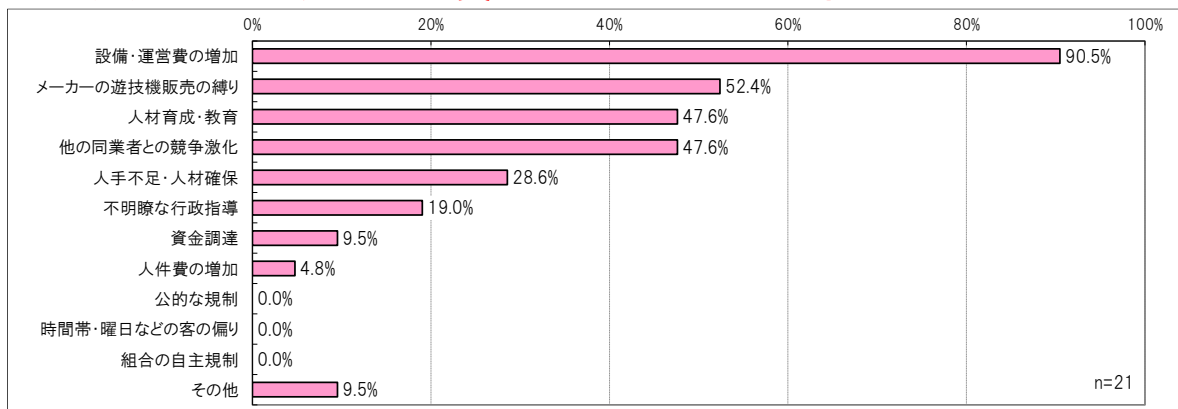
■小規模事業者:遊技機販売の縛りが最も高く、2番目に設備・運営費の増加



■中規模事業者:遊技機販売の縛りが最も高く、2番目に設備・運営費の増加



■大規模事業者:設備・運営費の増加が約9割で、最も高い



「経営上の課題」を事業者の規模別で見ると、小規模事業者(1~3 店舗)は「メーカーの遊技機販売の縛り」が66.7%で最も高い。2番目に「設備・運営費の増加」が高かった。

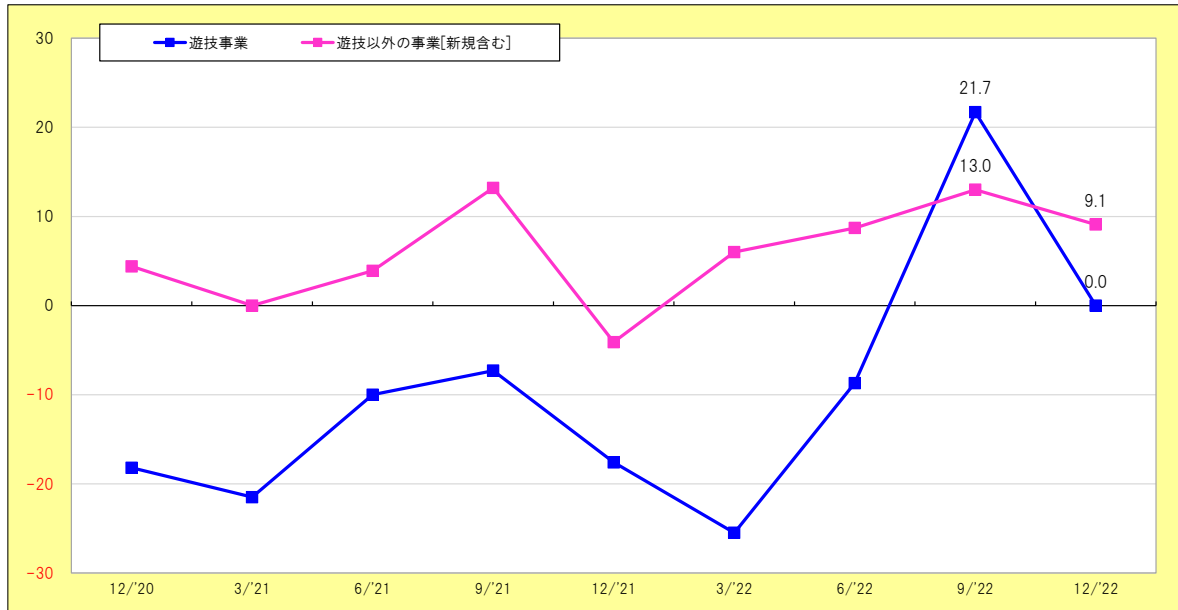
中規模事業者(4~10 店舗)も「メーカーの遊技機販売の縛り」が70.0%で最も高い。2番目に「設備・運営費の増加」が高かった。

大規模事業者(11 店舗以上)は「設備・運営費の増加」が90.5%で最も高い。2番目に「メーカーの遊技機販売の縛り」が高かった。

事業規模にかかわらず、「メーカーの遊技機販売の縛り」「設備・運営費の増加」が上位となっており、企業全体として大きな課題と捉えていることがうかがえる。

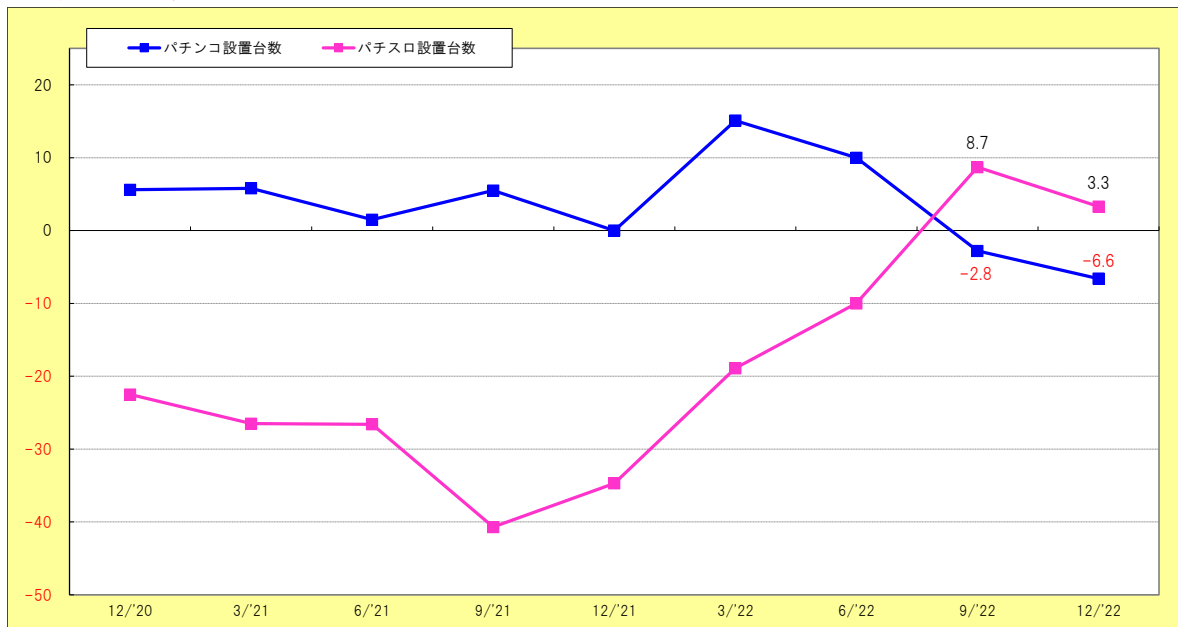
今後 3 カ月間の営業施策(事業者全体)①

■事業規模:遊技事業は大幅に悪化、遊技以外の事業はプラス圏を維持



事業規模について増減差(「拡大」-「縮小」)で見ると、「遊技事業」は±0ポイント(前回比 21.7 悪化)、「遊技以外の事業」は 9.1 ポイント(前回比 3.9 悪化)となった。「遊技以外の事業」はやや落ち込んだが、プラス圏を維持している。

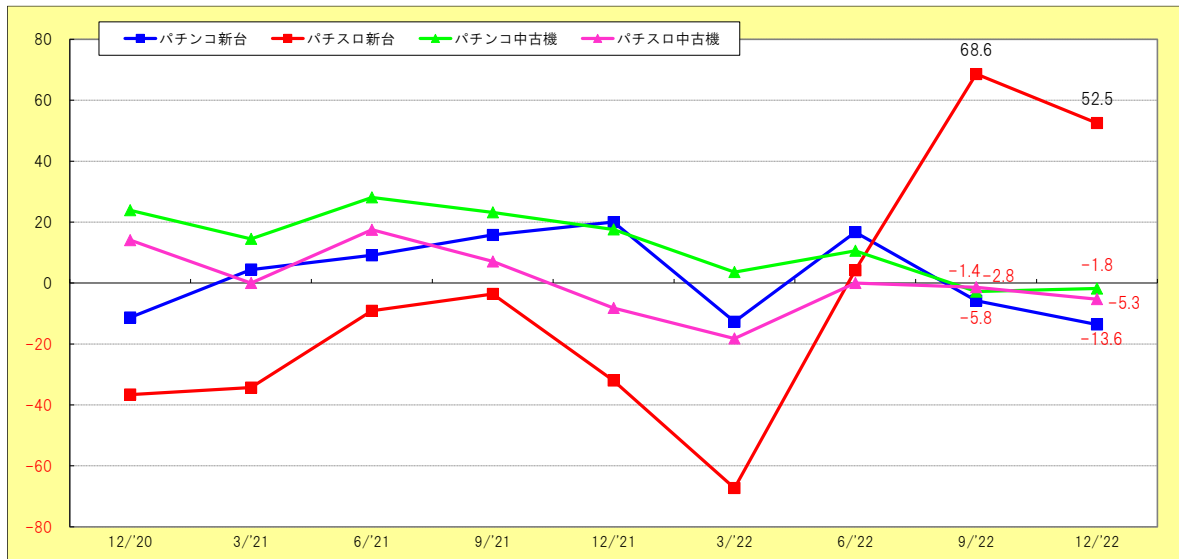
■設置台数:パチンコ・パチスロともにやや悪化



設置台数について増減差(「増台」-「減台」)で見ると、「パチンコ設置台数」は▲6.6ポイント(前回比 3.8 悪化)となり、やや低下した。一方、「パチスロ設置台数」は 3.3 ポイント(前回比 5.4 悪化)まで低下したが、プラスを維持している。

今後 3 カ月間の営業施策(事業者全体)②

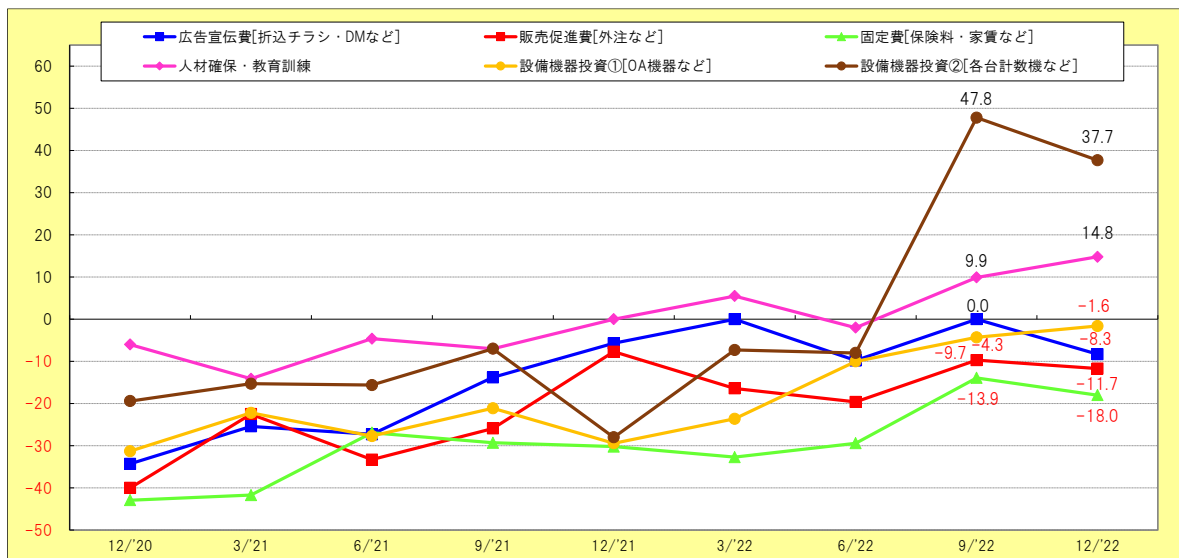
■遊技機購入費:パチスロ新台は落ち込むも、プラス圏を大幅に上回る



遊技機購入費について増減差(「増やす」-「減らす」)で見ると、「パチンコ新台」は▲13.6 ポイント(前回比 7.8 悪化)、「パチスロ新台」は 52.5 ポイント(前回比 16.1 悪化)となった。

「パチンコ中古機」は▲1.8 ポイント(前回比 1.0 良化)、「パチスロ中古機」は▲5.3 ポイント(前回比 3.9 悪化)となった。

■販売管理費:「設備機器投資②」は落ち込むも、プラス圏を大幅に上回る



販売管理費について増減差(「増やす」-「減らす」)でそれぞれの割合を見ていくと、「広告宣伝費」は▲8.3 ポイント(前回比 8.3 悪化)、「販売促進費」は▲11.7 ポイント(前回比 2.0 悪化)、「固定費」は▲18.0 ポイント(前回比 4.1 悪化)、「人材確保・教育訓練」は 14.8 ポイント(前回比 4.9 良化)、「設備機器投資①」は▲1.6 ポイント(前回比 2.7 良化)、「設備機器投資②」は 37.7 ポイント(前回比 10.1 悪化)となった。

各管理費の中でも「設備機器投資②」は前回から落ち込んだものの、プラス圏を大幅に上回っており、スマート遊技機に対する設備投資の意向が高いと考えられる。

コメント(自由回答)抜粋①

■現状と今後について

- ◆遊技機のリリースが安定せず、営業戦略が組みにくい。大手の仕掛けが激しくなる中、自社程度だと埋もれてしまう。(中部・中規模事業者)
- ◆遊技機の高価格化が止まらない。それ以上に販売方法に問題が沢山ある。抱き合わせ販売を始め、機歴という詭弁もあり、必要でない遊技機を押し売りしている。ほしい遊技機を適正に販売してほしい。(中部・小規模事業者)
- ◆振り返ると、抱き合わせに付き合い疲弊したことを実感した。抱き合わせしてまで買った本命の遊技機で結果が出ず、結果的にダメージが蓄積されることになった。たくさん遊技機を買ったところで、人気のない遊技機はどんな大手チェーン店であっても稼働してない。遊技機をとりあえず買えばいいと一概に言えないところが、この業界の現実である。(関東・小規模事業者)
- ◆行動制限の緩和など世間の空気も変わり、今年の8月～10月はコロナ前(2019年度)との比較で上昇基調(11月は小康状態)。当局の釘に関するチェックが強まっている地域もあり、今後の動向に注意を払わざるを得ない。(関東・大規模事業者)
- ◆2月はとてつもなく厳しい月になりそう。(中国・小規模事業者)

■スマート遊技機への展望や課題など

- ◆スマスロ、スマパチに期待している。(九州・中規模事業者)
- ◆スマート遊技機は次に販売される機種に期待したい。(九州・大規模事業者)
- ◆今後の営業はスマスロ、スマパチによるところが大きい。(関東・中規模事業者)
- ◆スマスロへの投資額が多いので、パチンコの新台・中古台の投資を減らして帳尻を合わせていく。(関東・小規模事業者)
- ◆スマート遊技機導入に向けて今期は遊技機購入費を抑えてきた。11/21からスマスロが導入開始となり、予定通り予算を投入して良い成績をあげている。ただ肝心のスマスロの台数が予定よりも確保できなかった。年明け以降の各メーカーからのリリースに期待している。(関東・大規模事業者)
- ◆スマスロの設備工事は準備不足だ。すべてが見切り発車に感じる。スマパチこそ準備万端にしてから販売をしてほしい。(中部・小規模事業者)
- ◆今後はスマスロ効果に期待したいところだが、足下では遊技客のパチンコからパチスロへの移動の域を超えていない。(関東・大規模事業者)

コメント(自由回答)抜粋②

- ◆スマスロはいい感じの出足だが、パチンコ客が移動している面もある。今年は遊技客全体が増えることを願っている。(中国・大規模事業者)
- ◆スマスロ導入が始まって1カ月ほど経つ。自店は未導入だが、競合の客数は全体的に増えていないように見える。電気代や物価高の影響はまだ続きそうで、スマスロ、スマパチが救世主となるのは難しいだろう。スマートパチスロという名前の割に、台が大きく重くて”スマート”ではない。どちらかと言えば、スマスロより電子マネーの導入のほうが業界への影響が大きいと思う。(中部・小規模事業者)
- ◆スマスロが高射幸性の規制に引っかからないか、規制された際の対処はどうするのか。また、スマパチの設備投資よりスマスロへの投資を優先すべきか、その際の資金調達をどうするか。メーカーの抱き合わせ販売など不公正な商慣習にさらに拍車がかかるのかなど、経営判断を誤れば会社が消滅しかねない状況にある。しかし、これが経営の醍醐味と考え、今年も良い年にしていきたい。(中国・中規模事業者)
- ◆現状の懸念点としては、①スマスロの検定通過状況の悪さ、②スマート遊技機の設備製造(増産)進捗の遅さ、③物価高と可処分所得の減少が見られることである。(関東・小規模事業者)
- ◆スマスロのユニット確保と釘検査などによって、遊技機が停止することを懸念している。(東北・大規模事業者)
- ◆スマスロに期待していたが、想像していたよりも稼動が思わしくない。今後、この様な射幸性の高い遊技機ばかり出て来ても、お客様がついてこれるか心配している。このままだと先細り感が否めない。(中部・中規模事業者)

調査結果概要データ(DI 値)

■主要指標(事業者規模別)

項目	小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者			全体		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-27.3	-27.8	-5.6	-27.6	-20.0	-5.0	-33.3	-30.4	-17.4	-38.4	-44.3	-22.7
稼動状況(パチンコ)	-22.7	-38.9	-11.1	-20.7	-36.8	-40.0	-19.0	-56.5	-39.1	-31.3	-58.1	-45.5
稼動状況(パチスロ)	-31.8	-5.6	16.7	-20.7	10.0	15.0	-9.5	26.1	17.4	-30.3	2.3	4.5
資本投資気運(遊技機)	-4.5	11.1	-11.1	20.7	60.0	45.0	9.5	60.9	56.5	9.7	45.9	32.8
資本投資気運(その他設備)	-4.5	16.7	16.7	13.8	50.0	45.0	-4.8	52.2	65.2	2.8	41.0	44.3
不足感(営業用設備)	-9.1	-33.3	-33.3	-24.1	-15.0	-25.0	-23.8	-26.1	-39.1	-26.3	-31.8	-39.8
不足感(雇用人員)	-45.5	-38.9	-44.4	-31.0	-45.0	-45.0	-47.6	-43.5	-52.2	-32.3	-45.5	-43.2

■主要指標(地域別)

項目	北海道・東北			関東			北陸・中部		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-35.7	-45.5	0.0	-22.2	-33.3	-12.5	-47.8	-65.2	-30.4
稼動状況(パチンコ)	-21.4	-63.6	-36.4	-33.3	-39.1	-25.0	-26.1	-69.6	-52.2
稼動状況(パチスロ)	-28.6	0.0	-9.1	-18.5	16.7	25.0	-43.5	-8.7	0.0
不足感(営業用設備)	-21.4	-27.3	-45.5	-14.8	-12.5	-29.2	-34.8	-43.5	-52.2
不足感(雇用人員)	-28.6	-36.4	-36.4	-22.2	-29.2	-41.7	-47.8	-60.9	-43.5
項目	近畿			中国・四国・九州			全体		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-50.0	-54.5	-27.3	-43.5	-26.3	-36.8	-38.4	-44.3	-22.7
稼動状況(パチンコ)	-50.0	-80.0	-72.7	-30.4	-52.6	-52.6	-31.3	-58.1	-45.5
稼動状況(パチスロ)	-50.0	0.0	0.0	-21.7	0.0	-5.3	-30.3	2.3	4.5
不足感(営業用設備)	-50.0	-45.5	-36.4	-21.7	-36.8	-36.8	-26.3	-31.8	-39.8
不足感(雇用人員)	-25.0	-45.5	-45.5	-34.8	-52.6	-47.4	-32.3	-45.5	-43.2

■企業金融(資金繰り・貸出態度・借入金利)

項目	小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者			全体		
	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回
資金繰り	-42.1	-22.7	-16.7	-17.6	-6.9	-30.0	-18.8	-23.8	-17.4	-26.9	-16.7	-21.3
貸出態度	-31.6	-18.2	-22.2	-11.8	-20.7	-10.0	0.0	-14.3	-17.4	-15.4	-18.1	-16.4
借入金利	-5.3	9.1	-22.2	0.0	-3.4	5.0	-12.5	-14.3	-4.3	-5.8	-2.8	-6.6

* 全般的業況 n=88、稼動状況(パチンコ)n=88、稼動状況(パチスロ)n=88、資本投資気運(遊技機)n=61、資本投資気運(その他設備)n=61、

不足感(営業用設備)n=88、不足感(雇用人員)n=88、資金繰り n=61、貸出態度 n=61、借入金利 n=61

* 小規模事業者=3店舗以下、中規模事業者=4~10店舗、大規模事業者=11店舗以上

■パチンコ景気動向指数(DI)調査とは

パチンコ業界における景気動向の判定を目的に、2000年6月より四半期毎に実施しているアンケート調査である。本調査は2020年9月より(株)シーズ/シーズリサーチが企画・実施しており、(株)エンタテインメントビジネス総合研究所から引き継いだものである。

■DI(Diffusion Index)とは

景気局面の総合判断や予測と景気転換点の判定に利用される景気動向指数のひとつ。数値化しにくい業況感を指標化できるので、景況の先行きを判定するために使われる。

DI値は、調査対象企業に「良い」「さほど良くない」「悪い」というような選択肢の質問を行い、「良い」の回答構成比から「悪い」の回答構成比を差し引いて算出。DI値は+100から-100の間をとるが、プラスならば景気拡大期、マイナスならば景気減速期と判断される。

■今回の調査について

調査対象：日本遊技関連事業協会、MIRAIぱちんこ産業連盟、余暇環境整備推進協議会の3団体会員ならびにAclub(エンタテインメントビジネス総合研究所の会員制情報提供サービス)会員など、全国の有カパチンコ店経営企業

◇実施時期：

2022年12月15日～12月30日

◇調査方法：

調査票をFAXおよびWEBアンケートにて送付・回収

<https://sees-research.com>

◇回答状況：

61企業、88地域(複数の地域にまたがり事業展開する企業があるため、地域数は重複あり)



調査元 〒110-0015 東京都台東区東上野2-20-1 晴花ビル2F
Tel:03-6806-0548 Fax:03-6806-0563 URL:<https://sees-research.com>



株式会社エンタテインメントビジネス総合研究所

調査協力 〒110-0016 東京都台東区台東1-14-11 藤野ビル2階
Tel:03-5289-4751 Fax:03-5289-4752 URL:<https://www.eb-i.jp/>

本書の一部または全部を無断で複写、複製、転載、データ化することを禁じます。

©2023 SEES RESEARCH